| | |
|---|---|
| 事例No. | 1678 |
| 公表年度 | R4 |
| 団体の属性 | 中核市 |
| 団体名 | 大阪府枚方市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公営企業 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・（公営企業）水道事業<br>・公共施設の集約化等<br>・（行政改革）業務の効率化 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | PPP/PFI |

事例内容・タイトル

DBO方式を採用した中宮浄水場更新事業

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

# 【大阪府枚方市】
# DBO方式を採用した中宮浄水場更新事業

PPP/PFI　水道事業

大阪府枚方市上下水道局上下水道部上水道室浄水課

## ● 取組の概要

経年劣化が見られ耐震性能も乏しい中宮浄水場を効率的・効果的に更新するため、民間活力を利用したDBO方式を採用した。

**◆総事業費**　更新事業及び浄水施設運転維持管理業務費　279億円

**◆背景**

- 経年劣化により老朽し、耐震性能も乏しい中宮浄水場を効率的・効果的に更新する必要があった。
- 低濁度・低水温時の凝集不良などの浄水的課題や人口減少に伴うダウンサイジング等に対応可能な技術的な課題解消に取り組む必要があった。
- これらの課題を解決するため、民間活力を利用した更新事業を実施することとした。

**◆具体的内容**

- 民間活力を活用するため事業者ヒアリング等の調査検討を行うことで、本更新事業にDBO方式を採用することが最も適切であると判断した。
- 浄水処理またダウンサイジングの課題解消を目指し、適切な浄水性能や維持管理負担の軽減を図るため、膜ろ過方式を採用した。

**◆効果**

- VFM5％が見込まれたことにより、事業費が削減された（▲15億円）。
- 設計、工事に5年間、運転維持管理業務に20年間、計25年のDBO事業を行うことで事業期間中の費用負担の分散ができた。

## ● 取組のポイント

- DBO方式を採用することで、費用削減等以下の効果が期待できる。
  ① 25年間のDBO方式を採用することで、事業期間中の契約等に係る業務負担を低減。
  ② モニタリング業務に移行することで、施工管理に係る業務の負担軽減。
  ③ モニタリング業務を通じて、民間の最新技術を取得する機会の増加。
  ④ 技術提案を求めることで、課題解決に向けた技術提案が得られた。

## ● 公営企業情報

- 行政区域内人口　397,681人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　65.12km$^2$（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　396,195人（令和3年度決算）

新浄水場イメージ



## ● 取組のスケジュール

- 平成25年に更新事業方針を定め、事業規模やPPP/PFIの検討を始める。
- 令和3年12月に契約締結。
- 令和9年4月より運用開始予定。

## ● 今後の展望

- 今後、本件DBO方式の更新事業の進捗に合わせ、適切なモニタリング業務を継続的に実施する。
- 新浄水場を利用しOJTを活用した人材育成に取り組む。